



社協だより

ほほえみ

No.71

2023年5月1日

P2・3	■ 令和5年度 予算・事業計画
P4	■ なごみ支え合い通信 第4号
P5	■ 生活支援サービス「なごみのわ」
P6	■ 生活困窮者自立相談支援事業
P7	■ 介護予防教室紹介
P8	■ 香典返し・善意寄付

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

【基本方針】

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、「赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らし続けられるまち」の実現を目指します。

コロナ禍で、地域活動の減少や、多世代間交流、集いの場の開催中止などが相次ぎ、現在、地域住民、社会、家族同士の「つながり」の希薄化が危惧されています。

その中で、社会福祉協議会では、地域の「つながり」を取り戻し、新たな「つながり」の創出のための活動として、職員自ら地域に出向いて（アウトリーチ）地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

また、在宅福祉の分野でも、サービス利用者の社会性の確保、地域参加、家族関係の「つながり」を維持しながら、在宅で暮らしていくための、介護保険事業・障がい者自立支援事業の効果的なサービスが提供できるように取り組んでいきます。

1. 社協運営に関すること

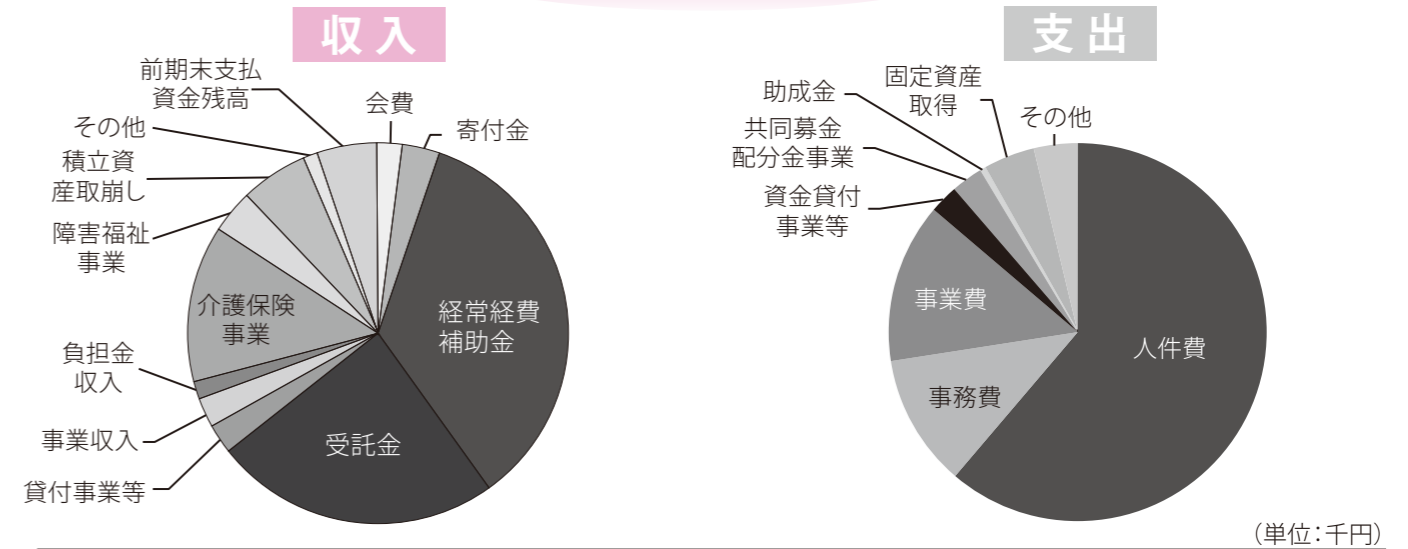
- ・理事会、評議員会、評議員選任解任委員会の開催
- ・各種監査及び会計指導
- ・役職員等の資質向上
- ・指定管理施設の管理運営

2. 社協事業に関すること

- (1) 住民への情報提供のために
 - ・社協広報誌の発行
 - ・ホームページの運営
- (2) 住民が必要とするサービスを企画・開発するために
 - ・ひとり暮らし・高齢者世帯の実態把握
 - ・第3期地域福祉活動計画
 - ・福祉座談会の開催
 - ・座談会後の継続支援
 - ・困りごとやニーズ調査
- (3) 住民が在宅で安心して暮らす事ができるために
 - ・居宅介護支援事業
 - ・訪問介護事業
 - ・訪問型予防事業
 - ・居宅介護・重度訪問介護事業
 - ・通所型サービスB事業
 - ・ふれあいいきいきサロン事業
 - ・男性料理教室事業
 - ・男性の集いの場づくり
 - ・介護予防教室運営事業
 - ・食の自立支援事業
 - ・地域福祉権利擁護事業
 - ・まごころ安心預かりサービス事業
 - ・福祉講演会
 - ・福祉・介護の相談会
 - ・福祉機器貸出事業
- (4) 住民の暮らしの相談・苦情受付のため
 - ・法律相談事業
 - ・補聴器相談事業
 - ・生活困窮者自立支援事業
 - ・福祉金庫貸付
 - ・緊急時における食糧等の提供
 - ・生活福祉資金の受付・相談
 - ・高額療養費の受付・相談
 - ・苦情相談の受付体制
 - ・メールやアンケートによる意見収集
- (5) 住民や団体の活動推進のため
 - ・物品貸出事業
 - ・社協公用車貸出
 - ・関係団体への協力・支援
 - ・民生委員児童委員協議会
 - ・老人クラブ連合会
 - ・荒玉郡市社会福祉協議会連合会
- (6) 子どもたちの健全育成及び次世代育成のために
 - ・児童デイサービス事業
 - ・福祉体験学習
 - ・ボランティア福祉協力校助成金事業
 - ・実習生受入体制の整備
- (7) 事業費募集のために
 - ・寄付金（一般・香典返し）の受付
 - ・日本赤十字社会費募集
 - ・社協会費募集
 - ・赤い羽根共同募金運動
- (8) ボランティア活動の推進・啓発のために
 - ・ボランティア連絡協議会への支援
 - ・ボランティア活動費助成事業
 - ・サロン・ボランティア養成講習会
 - ・中学生ワークキャンプ事業
 - ・ボランティアに関する相談受付や活動紹介などのマッチング
- (9) 住民がお互いに支え合うふれあいのまちづくりのために
 - ・ひとり暮らしふれあい招待会
 - ・出前講座などの職員派遣
 - ・世代間交流事業
 - ・生活支援体制整備事業
 - ・関係団体との協働体制の構築
 - ・生活支援サービス「なごみのわ」
 - ・見守りネットワーク推進
 - ・ファミリーサポートセンター事業
- (10) 防犯・防災のために
 - ・町防災訓練での連携・協力
 - ・地域での防災訓練への支援
 - ・災害時応援協定
 - ・災害ボランティアセンター設置運営訓練

令和5年度 和水町社会福祉協議会

一般会計予算



収入	勘定科目	金額	摘要
	会費	1,600	社協会費（一般・賛助・特別会員）
	寄付金	2,500	一般寄付金、香典返しなど
	経常経費補助金	27,994	町補助金、共同募金配分金
	受託金	19,322	福祉センター指定管理費、県社協受託金・町受託事業
	貸付事業等	2,000	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	事業収入	2,019	各事業への参加費、利用料
	負担金収入	1,160	生活困窮者等自立相談支援事業負担金
	介護保険事業	10,736	介護保険事業
	障害福祉事業	2,971	障害福祉サービス事業
	積立資産取崩し	4,500	積立の取崩し
	その他	954	預金利息など
	前期末支払資金残高	4,150	前期末支払資金残高からの繰入金
合計	79,906		

支出	勘定科目	金額	摘要
	人件費	48,965	職員人件費
	事務費	9,011	法人運営に係る費用（会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等）
	事業費	10,916	地域福祉事業に係る費用（配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等）
	資金貸付事業等	2,000	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	2,180	老人福祉活動費（ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等） 児童青少年福祉活動費（ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等） ボランティア活動育成費（団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等） 総合福祉的事業（広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費）
	助成金	335	各種福祉団体等への助成
	固定資産取得	3,500	車両購入費
	その他	2,999	退職共済預け金、予備費
	合計	79,906	

(単位:千円)

生活支援サービス「なごみのわ」

新規協力会員養成&協力会員フォローアップ講座 開催!



和木町社協では、高齢者や障がいを持つ方の、ちょっとしたお困りごとの解決のため、生活支援サービス「なごみのわ」によるボランティア活動を実施しています。

2月22日(水)、「なごみのわ」新規協力会員養成講座と、現在登録されている協力会員のフォローアップ講座を開催しました。

新規協力会員養成講座は、7名の方が受講され、合計47名の協力会員体制となりました。

また、フォローアップ講座では、令和4年度の事業実施報告の後、カフェ malou (板楠) の水上様を珈琲講座の講師としてお招きし、淹れたてのコーヒーを飲みながら、協力会員同士の交流を図ることができました。

今後、「なごみのわ」の益々の活動推進につながることに期待します。

男性料理教室 参加者募集!

美味しく、楽しく、簡単に!料理しませんか?

男性の皆さん、簡単な料理を学んでみませんか?楽しく料理に参加しながら、仲間づくりも出来ます。なごみ食の会の皆さんがサポートしてくれますので、料理初心者の方も大歓迎です!どうぞ、お気軽にご参加ください!

対象者:町内在住男性 年齢不問

期 日:毎月第3金曜日 5月19日より開始
午前10時~午後1時

協 力:なごみ食の会

持ち物:エプロン、三角巾

参加費:300円



和木町ファミリーサポートセンター 協力会員フォローアップ講座

3月11日(土)に、ファミリーサポートセンターの協力会員フォローアップ講座を開催しました。

今回は、講師に放課後等デイサービスほっとHOPE井上定子氏をお招きし、「子育てのヒント」~子どもの特性から見える接し方のコツ~と題し、子どもの特性・発達障がい児の特性について体験を通して、子ども達の世界観を学ぶことが出来ました。また、先生ご自身の経験談では、命の大切さについて学ぶことができ、大変貴重な講演をいただきました。



生活支援コーディネーターが発信する

なごみ 支え合い通信

第4号
2023年 春

? 生活支援体制整備事業とは

高齢化が進む中、元気な高齢者はもちろん、支援や介護が必要になっても自分らしく暮らし続けられる地域をつくっていくことが求められています。そこで、始まったのが、生活支援体制整備事業です。

公的サービスや制度だけでなく、多様で特色を生かした住民同士の支え合いの仕組みを充実させていき、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めていくために配置される「生活支援コーディネーター」を、和木町から委託を受け、社会福祉協議会が実施しています。

生活支援コーディネーターって、なにをする人?

<p>地域の皆さまから話を伺って、どのような困りごとがあるのかを把握します。</p> <p>①</p> <p>買い物やゴミ出しが大変...</p> <p>話し相手が欲しいな~</p>	<p>地域のことをもっと知るために、皆さまの元にお邪魔させていただきます。</p> <p>②</p> <p>私に出来ること、お手伝いしますよ</p>	<p>地域の皆さまと一緒に、困りごとの解決を目指します。</p> <p>③</p> <p>ゴミ出しは一緒に持っていきよ</p>	<p>支え合いのある地域を目指して、新たな力の発掘にも取り組みます。</p> <p>④</p> <p>スマホ講座 珈琲講座 協力会員の養成</p> <p>地域デビューを応援します!</p>
---	--	---	--

和木町見守りネットワーク会議



《参加事業所》

- ①肥後銀行菊水支店
- ②菊水郵便局
- ③三加和郵便局
- ④JA三加和総合支所
- ⑤熊日三加和販売センター

令和4年8月に、町内5事業所の賛同を得て、和木町見守りネットワーク協定を締結することができました。

今回、協定締結後の見守り事例の共有や意見交換のため、見守りネットワーク会議を開催しました。

緊急時の対応や支援を必要とされる方の早期発見や声かけの仕方など、様々な意見が交わされ、各事業所間の情報共有にもつなげることができました。

今後、さらなる見守り体制の強化のため、情報発信や周知啓発に努めます。

また、(株)ソフトバンク CSR 本部から講師をお招きし、インターネットを活用した行方不明者発見のためのオレンジセーフティネットについてお話いただきました。



介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内59地区(社会福祉協議会実施地区32地区)で介護予防教室(お茶の間筋トレ)が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、マッサージなど参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。(自主活動もあります)

各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしております!

なお、感染拡大防止の観点から、教室に参加される場合は、当日の検温及びマスク着用の上ご参加ください。

<各教室の実施日>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
AM9:30 ~ 11:30	☆焼米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立石 (立石公民館)	☆下津田 第1,3,5週 (下津田公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)
	☆前原 (前原公民館)	☆鷺原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)		☆志口永 (志口永公民館)	☆岩尻 (岩尻公民館)
	☆江栗 (江栗公民館)	☆中岩 (中岩公民館)	☆上岩 (上岩公民館)		☆前野 (前野公民館)	☆内田 (内田公民館)
	☆久米野 (久米野公民館)	☆板橋東 (台公民館)	☆下大田黒 (下大田黒公民館)		☆緑 (三加和公民館)	☆野田 (野田公民館)
	☆西吉地 (村公民館)	☆中林 (中林公民館)	☆皆行原 (皆行原公民館)		☆下岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)
	☆山十町 (橋上公民館)				☆中吉地 (山森公民館)	☆中十町 (中十町公民館)
	☆中十町 (集会センター)					
PM 1:30 ~ 3:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	北原 (北原公民館)	☆日平 (日平公民館)	☆白石 (白石公民館)
	☆用木 (用木公民館)	☆古閑 (古閑公民館)	☆藤田 (藤田公民館)	☆萩原 (萩原公民館)	☆牧野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平野 (平野公民館)	☆中路 (中路公民館)	☆中原 (中原公民館)		☆江光寺 (江光寺公民館)	☆馬場 (馬場公民館)
	☆西口 (平大公民館)	☆上和仁 (中組公民館)	☆春富 (春富集会センター)		☆ロマン館 (上津田公民館)	☆上津田 (上津田公民館)
	☆上大田黒 (上大田黒公民館)	☆和仁東 (和仁東公民館)	☆寺山 (寺山公民館)		☆中和仁 (鬼丸公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)
	☆板橋西 (小原公民館)	☆福祉センター			☆和仁西 (和仁西公民館)	☆男性体操 (福祉センター)

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

社会福祉士相談援助実習終了



九州看護福祉大学
3年
蒲池明日香

和水町社会福祉協議会で展開されている様々な事業に参加し、多くの方々と関わる貴重な経験が出来ました。

実習中は、実際に個別援助計画を作成しました。面接時における傾聴や共感・観察力の必要性や利用者主体の支援の重要性について学ぶことが出来ました。

今後も自分の住む地域やそこに住む人々に興味を持ち、地域の現状や地域の課題や課題の理解につなげたいです。

最後に、温かいご指導ありがとうございました。



九州看護福祉大学
3年
井上 雅貴

この度は、和水町社会福祉協議会で23日間にわたり実習をさせていただき、ありがとうございました。

職員の方々を始め、利用者の方々にも大変お世話になりました。皆様の温かいご指導のおかげで多くの知識や学びを得る事が出来ました。

私は将来、児童福祉関係の仕事に就きたいと考えています。実習で得た学びを活かし、より良い社会づくりに貢献していきたいと思っております。

最後に、皆様の益々のご発展とご健康をお祈りしています。

なごみ町生活よりそい相談センター

☎0968-34-2366 平日9:00~17:00

こんなことに困っていませんか? ひとりで抱えこまずにご相談ください

日々の生活のなかでの不安や、困りごとをお聞かせください。一人ひとりの状況に合わせた支援内容を相談者と一緒を考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

相談無料

秘密厳守



仕事の見つからない
仕事が続かず収入が安定しない
仕事を始めたいけれど、働けるか不安

仕事の悩み

借金を何とかしたい
税金や公共料金が払えない
家計のやりくりがうまくできず、生活が苦しい
年金だけで生活できるか心配だ

生活費の悩み

家計相談支援

家計の立て直しについてアドバイスします
家計状況の問題を整理し、自ら家計を管理していきけるように、状況に応じた支援計画の作成や貸付のあっせん等を行います。



子どもの学費や勉強のことが心配
家に引きこもっている家族がいる

子ども・家族の悩み

子どもの学習支援

子どもの明るい未来をサポート
子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止等について、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

会社を解雇され、住むところがない
家賃が払えず、家を出なければならぬ

住まいの悩み

住居確保給付金

家賃相当額を支給します
離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方に、就職に向けた活動を行うこと等を条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。



一時生活支援

宿泊場所や食事等を提供します
決まった住居のない方に、一定期間の宿泊場所と食事等を提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。



寄付御礼

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

R4年12月16日～R5年4月17日 受付分

寄付者	物故者	行政区(住所)
有馬佐喜子様	亡義姉) 真崎代志子	神戸市
原田靖代様	亡父) 秋吉	大屋
松野康二様	亡母) 綾子	牧野
北原聡一郎様	亡父) 英世	山十町
池上誠一様	亡母) 悦子	中十町
益永イチ子様	亡夫) 正勝	白石
豊後英世様	亡母) 順子	大屋
荒木照子様	亡母) 中嶋ミチヨ	江栗
黒肥地尚美様	亡夫) 秀則	上久井原
井口シゲ子様	亡夫) 二郎	古閑
津口清子様	亡夫) 功	大屋
深草清信様	亡母) ムツ子	下久井原
中屋綾子様	亡夫) 昭雄	住吉
戸上義昌様	亡母) スミ子	江栗
前淵十九六様	亡妻) 文子	用木
坂口清一郎様	亡父) 宏也	馬場
緒方邦子様	亡夫) 正雄	下岩
竹下正子様	亡夫) 忠孝	上津田
松井敏男様	亡父) 利美	蜻浦
木本代志美様	亡義伯母) 中野春子	日平
坂梨太様	亡母) 須美子	下津原東
横手江里様	亡母) マサミ	上岩
前田一昭様	亡妻) 能子	用木
井島利行様	亡妻) ソエ子	西口
金栗一博様	亡妻) 英子	中林
松尾幸夫様	亡母) 衣子	板楠西
高木美智代様	亡母) 船津博子	竈門
徳永総明様	亡母) 亮子	下津原西
田丸喜志生様	亡母) シズモ	北九州市
池田ミチト様	亡夫) 博美	山十町
中嶋孝様	亡母) モリ子	江栗
高木しげ美様	亡母) 久野	竈門
大塚高志様	亡母) たづ	住吉
藤原富美子様	亡夫) 弘毅	上大田黒
山崎元光様	亡弟) 信之	大屋
松葉憲司様	亡母) 逸美	本村
荒木茂様	亡母) 近代	皆行原
北原洋一様	亡妻) イシエ	上平野

善意寄付

下記の方々より、善意の寄附をいただき、ありがとうございました。寄附については、社協事業に活用させていただきます。

- ◇金一封◇ ◆匿名 4件
◆三加和中学校企業体験

三加和中学校では、授業の一環で企業体験を実施され、町内企業や施設等と協力し、商品開発したオリジナル商品を金栗マラソン大会で実演販売されました。

また、起業された2社から、収益金を和水町のために役立てて欲しいという思いから、社会福祉協議会へ寄附をいただきました。

<会社名>

- ①にくまる(代表 牛島心優君)
②さていまる(代表 中村優希君)

退任のご挨拶



和水町社会福祉協議会
前事務局長 坂本 一恵

この度、令和5年3月31日をもって、定年退職致しました。和水町社会福祉協議会に入職し二十五年余り、福祉業界に飛び込んで四十年、これまで勤め上げる事が出来たのも、ひとえに関係各位の皆様のお陰と御礼申し上げます。

福祉業界の様変わりする中、周囲の方から「地元で働いてみたら」とのアドバイスをいただき、社協へ新たな決意の下、入職致しました。在宅福祉・地域福祉と多種多様な業務は、今まで見たことのない世界で心がわくわくしたことを記憶しております。

そして、和水町になり十七年、更に多くの人との巡り合いが、私をより一層成長させていただき、大変感謝しております。私自身、どれだけ皆様のお役に立てたかは不明ですが、私にとっては、人に携わる仕事が出来て本当に幸せでした。この経験は、大切な財産となりました。

今後は、一住民として社協を応援して参ります。和水町の皆様ありがとうございました。

編集後記 新年度に入り、社会福祉協議会の組織も一部変更になりました。坂本前局長の退職に伴い、新たに樋口局長が4月1日付けで着任されました。日々新しい事を学ぶ機会があります。私たちが、社会福祉協議会の仕事を遂行していくためにも、様々な基礎的な知識の定着と実践力が求められていると思います。福祉の専門職を担う立場として、日々研鑽していきたいと思えます。(石原)